



向陵広場

発行号 第102号

発行日 令和4年9月28日(水)

発行元 向陵編集校友会

責任者 伊藤有司 (県商10回卒)

中 新 2022年(令和4年)9月27日(火曜日) 東三河 16

東三河版



ペロペロ
大久保莉那
無所属

ニュース、情報は下記へ
 社会部
 052-231-1650・5919
 Eメール
 shakai@chunichi.co.jp

豊橋総局 千440-0806
 豊橋市八町通4-52-1
 0532-52-7181 Fax54-4655

岡崎支局
 0564-22-1661 Fax25-1554

豊田支局
 0565-31-3200 Fax31-3203

豊川通信局
 0533-86-2305 Fax82-1575

新城通信局
 0536-22-0242 Fax23-3811

蒲郡通信局
 0533-68-2437 Fax66-1465

設楽通信部
 0536-62-0269 Fax62-1577

田原通信部
 0531-22-0269 Fax23-2889

中日新聞へのご意見は
 読者センターへ
 052-221-0800 Fax221-0819
 Eメール
 center@chunichi.co.jp

広告のお申し込みは
 広告局三河アドセンターへ
 岡崎 0564-23-3051(代)

掲載写真を購入希望の方は
 最寄りの中日新聞販売店へ

「この3人だから」V射抜く

豊橋商業高 弓道部・山口さん、今田さん、丸山さん



宇都宮市で九月十一・十三日にあった「いちご一会とちぎ国体2022」の弓道少年女子の部で、県代表として豊橋商業高校(豊橋市向山町)の三年生三人が団体で出場し、二部門で優勝する快挙を取めた。選手たちは「うれしい。この三人だから勝つことができた」と喜んだ。

(鍵谷朱里)

国体「優勝できちゃった」笑い合う

出場したのはいずれも弓道部部員の山口詩織さん(一も)、今田幸子さん(二も)、丸山来夏さん(三も)。三人は二十八日先の直径三十六センチの的を狙う「近的」と、六十日先の直径一尺の的を狙う「遠的」の二部門に団体で出場し、見事一位に輝いた。

上位八県による決勝トーナメントで、特に思い出深いのが遠的一回戦の鹿児島戦。豊橋商高は八月に徳島市であった高校総体(インターハイ)の準決勝で鹿児島の高校に敗れ、三位だった。「鹿児島には勝とう」とを合言葉に挑んだ試合は、接戦の末に競り勝ち、雪辱を果たした。

山口さんは「大会後に『なんか優勝できちゃった』

優勝した(左から)山口さん、今田さん、丸山さん。豊橋市向山町の豊橋商業高で

ね」と三人で笑い合った。今田さんも「インターネット配信で試合を見てくれた家族に、格好良いところが見せられて良かった」と振り返った。

チームの強さの要因を「いつも三人で励まし合っていたからかな」と笑顔で話す丸山さん。試合前からチームの雰囲気は良く、休憩のときに来年就職を控える山口さんと、今田さんの面接の練習を三人ですることもあったという。

今田さんは「県代表と同じ高校で占めることはあまりないと思う。いつも通り、リラックスして自分らしく弓が引けた」と話した。

三人にとって高校生活最後の公式戦だった今回の国体。卒業後も全員が弓道を続ける。山口さんは「弓道を通して、努力し続ける大切さを学んだ。次は国体の成人部門で優勝したい」と意気込んだ。